

資料

「生活意識に関するアンケート調査」(第2回)の結果

——「生活者の目からみた将来の経済と生活ビジョン」——

(はじめに)

日本銀行が行う金融政策や業務は、「通貨価値の安定」や「信用制度の保持育成」を通じて、国民生活と密接に結び付いています。このため、日本銀行では従来から本・支店の様々なルートを通じて広報活動を展開するとともに、国民各層の意見や要望をできるだけくみ上げるよう努めてまいりました。

ただ、このところ国民の生活意識や価値観が一層多様化しつつあることから、真に豊かな「生活重視社会」実現のためには、このような広報活動を一層充実させ、日本銀行の金融政策や業務運営に対する国民の理解を深めるとともに、国民の声や生活実感をよりきめ細かく把握し、これを金融政策や業務運営の参考としていくことが重要になってきていると考えられます。

こうした考えに基づき、昨年2月に全国20歳以上の男女個人4,000人を対象とした第1回の「生活

意識に関するアンケート調査」を実施いたしました(調査結果は『日本銀行月報』<平成5年5月号>に掲載)。今回の調査はこれに続く第2回目の調査で、「生活者の目からみた将来の経済と生活ビジョン」をテーマに、生活者は、今後5～10年間のわが国の経済環境やそのなかでの自分の収入・消費等がどうなっていくとみているのか、といった設問が中心となっています。

この調査は、「短観」のような統計指標作成のための調査ではなく、人々の意識や行動を大まかに聞く一種の世論調査です。もとより、人々の意識や行動は漠然とした性格を持つものであり、これを正しく把握するためには、引き続き調査内容等の改善が必要であると考えています。

いずれにせよ、この調査活動は緒についたばかりであり、今後とも各方面のご意見を承りながら、その改善を図りつつ、金融政策や業務運営の参考材料として活用していきたいと考えております。

(調査の概要)

- ・調査実施期間……平成6年3月11日～24日
- ・調査対象……全国の20歳以上の男女個人
- ・標本数……4,000人(有効回答者数3,407人<有効回答率85.2%>)
- ・抽出方法……層化2段無作為抽出法
- ・調査方法……設問票によるアンケート調査(訪問留置法)

(調査結果)

(注) 色文字の数値は回答比率 % (小数第2位を四捨五入したことや、一部設問で無回答者を掲記していないため、単数回答項目について、その構成比の合計は必ずしも100とならない)。

はじめに生活全般についてあなたのご意見をおうかがいします

(1) 景況感

問1. あなたは、最近の世間の景気をどうみていますか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
よい	まあよい	どちらとも言えない	やや悪い	悪い
0.3	1.7	11.4	39.7	46.9

問2. 最近の世間の景気について、あなたがそうお考えになるのは主にどのようなことからですか。

(○は3つまで)

1 新聞やテレビ、雑誌、週刊誌などの情報から	72.6
2 家族や知人、友人などの人のはなしを聞いて	35.5
3 自分の店の売り上げや生産物の売れ行き状況から	15.7
4 勤め先の経営状況や雰囲気から	33.8
5 自分や家族の収入の状況から	21.1
6 自分や家族の雇用状況(就職・転職の難易度、配置転換、解雇など)から	15.0
7 周囲の人々のお金の使い方を見て	17.9
8 デパート、商店街、盛り場などの混み具合を見て	20.7
9 観光地や行楽地、旅客ターミナルなどの混み具合を見て	4.8
10 何となく漠然と	1.0
11 その他(具体的に)	1.8

問3. あなたは、1年後の景気が、現在と比べてどうなっていると思いますか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
よくなって いると思う	ややよくなって いると思う	変わらない と思う	やや悪くなって いると思う	悪くなって いると思う
1.1	26.1	55.8	11.2	5.7

(2) 収 入

問4. 1年前と比べて、あなた(および配偶者)の収入はどうなりましたか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
2.2	17.8	46.3	18.9	14.6

問5. 1年後のあなた(および配偶者)の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
増えると思う	やや増えると思う	変わらないと思う	やや減ると思う	減ると思う
1.7	20.7	56.3	13.2	8.0

(3) 消費

問6. あなたは、1年前と比べて、最近、ご自分またはご家庭の支出をどのようにしていますか。全体としてみた場合でお答えください。(○は1つ)

1	2	3	4	5
切り詰めている	やや切り詰めている	変わらない	やや増やしている	増やしている
18.6	39.1	36.7	4.6	1.1

(切り詰めている人<問6で1、2と回答>に)

問6-1(a). 具体的にどのような費用を切り詰めていますか。(○はいくつでも)	
1 食費	43.8
2 衣料費(装身具を含む)	69.3
3 車およびその維持費	15.7
4 家具、電気製品などの耐久消費財	31.1
5 家賃、地代、家の維持補修費	3.7
6 教養・娯楽費、交際費	36.7
7 子供の教育費	1.6
8 医療費	2.0
9 光熱費、水道費	24.1
10 交通費、通信費	10.1
11 全体的に切り詰めている	7.6
12 その他(具体的に)	0.5

(増やしている人<問6で4、5と回答>に)

問6-1(b). 具体的にどのような費用を増やしていますか。(○はいくつでも)	
1 食費	41.7
2 衣料費(装身具を含む)	20.3
3 車およびその維持費	18.2
4 家具、電気製品などの耐久消費財	12.5
5 家賃、地代、家の維持補修費	9.9
6 教養・娯楽費、交際費	28.1
7 子供の教育費	46.9
8 医療費	14.6
9 光熱費、水道費	16.7
10 交通費、通信費	7.8
11 全体的に増やしている	2.6
12 その他(具体的に)	2.6

問6-2(a). それらの支出を切り詰めている理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 収入が減ったから	42.2
2 借入(ローン)返済の負担が増えたから	14.7
3 土地や株式など資産価値が減少し、将来に不安を感じるようになったから	10.6
4 景気などに関するマスコミの報道を見聞きして、不安を感じるようになったから	32.7
5 欲しいものは大体買ってしまったから	12.0
6 物価が上昇したから	28.7
7 最近まとまった支出があった、あるいは今後まとまった支出を予定しているから	30.3
8 その他(具体的に)	4.6

問6-2(b). それらの支出を増やしている理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 収入が増えたから	16.7
2 借入(ローン)返済の負担が減ったから	3.6
3 土地や株式など資産価値が増加し、将来にゆとりを感じるようになったから	1.0
4 景気などに関するマスコミの報道を見聞きして、希望を感じるようになったから	1.0
5 欲しいものがあつたから	17.7
6 価格が上昇したが、購入量を減らすわけにはいかないので	33.3
7 最近やむを得ない支出があつたから	42.7
8 その他(具体的に)	17.2

(収入が減った人<問6-2(a)で1と回答>に)

問6-3(a). 収入が減った理由は何ですか。(○はいくつでも)	
1 給料、または店の売上げが減ったから	85.8
2 利息収入が減ったから	13.9
3 株式などの配当や資産の運用益が減ったから	4.7
4 その他(具体的に)	7.1

(収入が増えた人<問6-2(b)で1と回答>に)

問6-3(b). 収入が増えた理由は何ですか。(○はいくつでも)	
1 給料、または店の売上げが増えたから	78.1
2 利息収入が増えたから	0.0
3 株式などの配当や資産の運用益が増えたから	3.1
4 その他(具体的に)	18.8

問7. あなたは、全体としてみた場合、今後1年間の支出をどのようにしようと考えていますか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
切り詰めようと思う	やや切り詰めよう と思う	現状を維持しよう と思う	やや増やそう と思う	増やそうと思う
20.2	37.0	40.7	1.7	0.2

(4) 物 価

問8. 現在の物価を 1年前と比べてみると、あなたの生活実感としては、どのように感じていますか。

(○は1つ)

1 10%以上下がっている	2.7	6 1~3%くらい上がっている	29.3
2 7~9%くらい下がっている	0.9	7 4~6%くらい上がっている	19.3
3 4~6%くらい下がっている	2.9	8 7~9%くらい上がっている	4.1
4 1~3%くらい下がっている	5.3	9 10%以上上がっている	6.2
5 ほとんど前年と変わっていない	28.9		

問9. それでは、1年後の物価は、現在と比べてどうなと思いますか。(○は1つ)

1 10%以上上がる	1.0	6 1~3%くらい上がる	35.1
2 7~9%くらい上がる	0.6	7 4~6%くらい上がる	17.1
3 4~6%くらい上がる	1.1	8 7~9%くらい上がる	4.1
4 1~3%くらい上がる	2.8	9 10%以上上がる	7.2
5 ほとんど現在と変わらない	30.6		

(5) 借 入

問10. あなた（および配偶者）は、現在、銀行などからの借入がありますか。(○は1つ)

(注) クレジットカードを利用したの買い物や事業目的の借入は除きます。

1	2
借入がある	借入はない
37.5	62.5

(借入のある人<問10で1と回答>に)

問10-1. 全体としてみた場合、あなた（および配偶者）の借入の金利は、1年前と比べてどうなっていますか。(○は1つ)

1	2	3	4
上がった	変わらない	下がった	わからない
7.8	58.0	25.9	8.1

問10-2. 1年前と比べて借入の返済負担について、あなたはどのようにお感じですか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
苦しくなった	やや苦しくなった	変わらない	やや楽になった	楽になった
12.8	27.6	52.8	6.3	0.5

問10-3. それでは、1年後のあなた（および配偶者）の借入の金利は、全体としてどうなっていると思いますか。(○は1つ)

1	2	3	4
上がるだろう	変わらないだろう	下がるだろう	わからない
23.6	61.6	5.6	9.1

ここからは、今後5～10年間くらいのあなたの暮らしぶりなどについておうかがいします

(1) 経済に対する見方

[成長率の見方]

問11. あなたは、今後5～10年間くらいの日本経済の成長率は、^{おおざっぱ}大雑把にみるとどうなると思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|---|------|
| 1 再び高い成長率になると思う | 3.5 |
| 2 以前のような高い成長率にはならず、低成長が続くと思う | 50.7 |
| 3 以前のような高い成長率にはならず、場合によってはマイナスの成長になると思う | 21.6 |
| 4 よくわからない | 24.2 |

(高い成長率になると思う人<問11で1と回答>に)

問11-1. あなたが、「再び高い成長率になる」と思われるのはどうしてですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 1 今の不景気は、ひと頃のバブルの反動であり、一時的なものだと思うから | 45.8 |
| 2 日本の技術開発力は、世界のトップクラスにあるから | 25.4 |
| 3 日本人は勤勉であり、人々が一所懸命働けば経済は繁栄すると思うから | 21.2 |
| 4 多少ムードがよくなれば、また消費が増えると思うから | 23.7 |
| 5 ライフスタイルの変化に合わせ、新しい分野の産業が伸びてくると思うから | 35.6 |
| 6 過去のオイルショックや円高も結局は乗り越えられたから | 31.4 |
| 7 その他(具体的に) | 3.4 |

(低成長・マイナス成長になると思う人<問11で2、3と回答>に)

問11-2. あなたが、「低成長やマイナス成長になる」と思われるのはどうしてですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---|------|
| 1 戦後日本経済を支えてきた経済構造が大きく変わり、高成長が難しくなると思うから | 55.7 |
| 2 日本の技術開発力に衰えがみられると思うから | 8.1 |
| 3 高齢化が進み、働き手の活力が低下すると思うから | 43.9 |
| 4 すでに必要なものは大体買ってしまったっており、今後とも消費は増えないと思うから | 22.9 |
| 5 経済成長よりは、ゆとりある暮らしを求める人が増えると思うから | 35.6 |
| 6 輸出環境の悪化や、工場などの海外移転による国内産業の空洞化が、経済の足を引っ張ると思うから | 51.4 |
| 7 資源やエネルギー、環境問題などが障害になると思うから | 29.8 |
| 8 その他(具体的に) | 2.5 |

[暮らし向きの見方]

問12. あなたは、今後5～10年間くらいのご自分の暮らし向きはどうかと思いますか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
今よりよくなる と思う	今よりややよく なると思う	今と変わらない と思う	今よりやや悪く なると思う	今より悪くなる と思う
4.0	17.5	37.1	33.3	8.0

(悪くなると思う人<問12で4、5と回答>に)

問12-1. そう判断されるのはどのような理由からですか。(○はいくつでも)

1 収入・雇用面で不安があるから	55.9
2 日常生活に必要な支出が増えるから	42.5
3 教育費の負担が増えるから	35.0
4 借入の返済負担が重いから	10.4
5 将来に備え、貯金などにお金をまわさないといけないから	23.6
6 住宅の購入費や家賃、地代などが高いから	16.1
7 物価の上昇が予想されるから	45.3
8 その他(具体的に)	4.4

問13. 暮らし向きと経済の成長について、以下の考え方がありますが、あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。(○は1つ)

	1 A に近い	2 どちら かと言 えば	3 どちら とも言 えない	4 どちら かと言 えば	5 B に近い	
A						B
生活レベルがまだまだ低いので、生活レベルの向上のためにも、高目の経済成長を続けることが必要だ	8.5	24.2	36.1	24.2	6.8	生活はある程度豊かになったので、今後は高目の経済成長を続ける必要はない

(2) 収 入

問14. 今後5～10年間くらいのあなた（および配偶者）の収入はどうかと思いますか。（○は1つ）

1	2	3	4	5	6
今より増える と思う	今よりやや 増えると思う	今と変わらない と思う	今よりやや 減ると思う	今より減る と思う	わからない
7.3	34.2	24.8	13.2	13.5	6.8

(3) 消 費

問15. あなたは、最近、商品を購入する際に工夫するようになったことがありますか。次のうち、あてはまるものがあれば○をつけてください。（○はいくつでも）

1 本当に必要なものだけを買うようになった	72.1
2 ちらしなどを見てよく研究してから買うようになった	39.5
3 ディスカウントストアを以前よりも利用するようになった	28.6
4 生産者からの直接購入や生協などの共同購入を以前よりも利用するようになった	9.9
5 中古品（リサイクル品）を以前よりも買うようになった	4.8
6 安い輸入品を以前よりも買うようになった	5.4
7 通信販売を以前よりも利用するようになった	11.0
8 まとめ買いをするようになった	9.1
9 その他（具体的に	1.0
10 特に工夫はしていない	10.5

問16. 今後5～10年間くらいのご自分またはご家庭の消費支出はどうかと思いますか。（○は1つ）

1	2	3	4	5
今より増えると思う	今よりやや 増えると思う	今と変わらない と思う	今よりやや 減ると思う	今より減ると思う
19.5	35.4	27.4	12.9	4.7

問17. 今後5～10年間くらいについて、あなたはどのような点を重視して、商品を選んでいこうとお考えですか。（○はいくつでも）

1 価格の安さ	54.5
2 機能、品質のよさ	74.0
3 ブランドの名前をよく聞くもの	2.2
4 使いやすさや操作の簡単なもの	52.9
5 デザインのよさ	14.5
6 他の人があまり持っていない個性的なもの	5.9
7 環境問題や省資源、省エネルギーに配慮したもの	42.2
8 その他（具体的に	0.9
9 特に変化はないと思う	5.7

問18. 今後の消費に関して、以下に5組の考え方がありますが、あなたのお考えはA、Bのどちらに近い
ですか。(○はそれぞれ1つ)

		1 A に近い	2 どちらか とAに近い 言えば	3 どちらとも 言えない	4 どちらか とBに近い 言えば	5 B に近い	
	A						B
(1)	今後、収入が増えれば、 買いたいものはある	31.9	28.0	13.1	16.4	10.5	今後、収入が増えても、 買いたいものはあまりない
(2)	置く場所がないのでほしく ても買っていないものがある	14.9	21.5	31.0	19.7	12.8	置く場所があっても買いた いものはあまりない
(3)	便利な機能や品質を備えた 製品が開発されれば買いた い	16.8	31.4	33.3	11.6	6.8	便利な機能や品質を備えた 製品が開発されても、買いた くない
(4)	今後は「モノ」(商品) より も、「サービス」(レジャー、 健康、教育など) への支出 に重点を置きたい	19.2	33.0	36.8	7.1	3.9	今後は「サービス」(レジャー、 健康、教育など) よりも、 「モノ」(商品) への支出 に重点を置きたい
(5)	価格が高いものを買うこと は他の人に対し何となく 優越感を感じる	3.1	9.4	31.5	21.4	34.5	価格が高いものを買っても 他の人に対し優越感を感じ ない

(4) 物 価

問19. あなたは、今後5～10年間くらいの日本の物価上昇率は、平均で1年あたりどのくらい下がるまた
は上がると思いますか。(○は1つ)

1	年平均10%以上上がる	1.2	6	年平均1～3%くらい上がる	47.8
2	〃 7～9%くらい下がる	0.5	7	〃 4～6%くらい上がる	20.4
3	〃 4～6%くらい下がる	1.1	8	〃 7～9%くらい上がる	3.4
4	〃 1～3%くらい下がる	4.1	9	〃 10%以上上がる	5.6
5	ほとんど前年と変わらない	15.1			

問20. また、今後物価が上昇した場合、どの程度の上昇率であれば我慢できると思いますか。(○は1つ)

1	年平均1～3%の物価上昇率	44.1
2	〃 4～6%の物価上昇率	6.0
3	〃 7～9%の物価上昇率	0.5
4	〃 10%以上の物価上昇率	0.5
5	物価上昇はパーセントにかかわらず我慢できない	36.2
6	わからない	12.6

問21. 物価について、以下の5つの考え方がありますが、それぞれについてあなたはどのように思われますか。
(○はそれぞれ1つ)

あなたのお考えは？				
1 そう 思う	2 ど ち ら か と 言 え ば	3 ど ち ら と も 言 え な い	4 ど ち ら か と 言 え ば	5 そ う 思 わ な い

- | | | | | | |
|------------------------------------|------|------|------|------|------|
| (1) 最近値下がりしているものがかなり目につくように……→ | 9.6 | 19.9 | 26.5 | 18.3 | 25.7 |
| なってきた | | | | | |
| (2) 最近値下がりをして安く買えるものもあるが、その……→ | 7.2 | 14.2 | 43.6 | 16.5 | 18.5 |
| 分買う量を増やしたので、支出額全体はあまり減っ | | | | | |
| ていない | | | | | |
| (3) 最近、輸入品の価格は着実に下がっていると思う……→ | 16.7 | 30.7 | 34.5 | 10.0 | 8.1 |
| (4) 「モノ」(商品)の価格に比べ、「サービス」(レジャー、……→ | 37.5 | 31.2 | 23.7 | 4.9 | 2.6 |
| 健康、教育など)の価格が高すぎると思う | | | | | |
| (5) 先行き、オイルショック時のようなインフレが再び……→ | 15.4 | 23.5 | 39.6 | 12.1 | 9.5 |
| 発生すると思う | | | | | |

(5) 金 利

問22. 最近、各種の金利が下がっていますが、これについて以下の5つの考え方があります。それぞれについてあなたはどのように思われますか。(○はそれぞれ1つ)

あなたのお考えは？				
1 そう 思う	2 ど ち ら か と 言 え ば	3 ど ち ら と も 言 え な い	4 ど ち ら か と 言 え ば	5 そ う 思 わ な い

- | | | | | | |
|--------------------------------|------|------|------|------|------|
| (1) 金利は今が底で、もうこれ以上は下がらないと思う……→ | 40.5 | 22.9 | 25.3 | 7.0 | 4.2 |
| (2) 預貯金の金利が下がっているので、貯蓄するよりも……→ | 3.2 | 7.5 | 35.1 | 22.8 | 31.4 |
| 消費にまわした方がよい | | | | | |
| (3) 預貯金の金利が下がっているので、預貯金するより……→ | 3.6 | 8.3 | 37.2 | 18.7 | 32.2 |
| むしろ株式や不動産などに投資した方がよい | | | | | |
| (4) 借入金利が下がっているので、住宅ローンやクレ ……→ | 11.7 | 20.8 | 32.7 | 12.4 | 22.3 |
| ジットによる借入を増やすにはよい機会だ | | | | | |
| (5) 金利は下がっているが、先行きの収入に不安がある……→ | 45.7 | 26.3 | 21.3 | 3.6 | 3.1 |
| ので、実際に借入を増やすことは考えにくい | | | | | |

(6) 借 入

問23. 今後5～10年間くらいにおける借入について、以下の5組の対照的な考え方があります。あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。(○はそれぞれ1つ)

		1 A に近い	2 ど ち ら か と 言 え ば	3 ど ち ら と も 言 え ない	4 ど ち ら か と 言 え ば	5 B に近い	
	A						B
(1)	住宅ローンの借入に抵抗はない	9.4	13.6	22.4	24.1	30.3	住宅ローンであっても借入には抵抗がある
(2)	金利が低ければ、借入をしてでも「もの」を買いたい	2.1	6.9	19.9	23.0	47.9	金利が低くても、借入により「もの」を買いたくない
(3)	今後、借入に対する金融機関の審査が厳しくなり、お金が借りにくくなると思う	14.9	21.4	50.1	9.8	3.7	今後、借入に対する金融機関の審査は厳しくなくなり、お金が借りやすくなると思う
(4)	今後、借入をする、もしくは借入残高を増やしていきたい	1.2	2.1	24.9	21.4	50.3	今後、借入残高を減らす、もしくは借入はなくしていきたい
(5)	<u>無計画</u> に借入をする人が増え、自己破産が増えると思う	17.4	20.7	42.4	12.7	6.7	<u>計画的</u> に借入をする人が増え、自己破産は減ると思う

(7) 資産形成

問24. 今後5～10年間くらいにおける資産形成（預貯金・株式など金融資産、土地・住宅など不動産）について、以下の5組の対照的な考え方があります。あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。
(○はそれぞれ1つ)

		1 A に近い	2 どちら かと言 えば	3 どちら とも言 えない	4 ど ち ら に 近 い と言 え ば	5 B に 近 い	
	A						B
(1)	自分の資産はまだまだ不十分であり、今後も資産形成に励みたい	28.9	26.8	24.8	10.6	8.7	一応必要な資産は持っており、あまり資産形成に励む必要はない
(2)	これからは資産形成に努めるよりは、消費を優先したい	1.6	5.1	40.7	32.1	20.4	これからは消費よりは、資産形成に努めたい
(3)	これからの資産形成については、安全性よりも収益性を重視したい	2.2	5.5	32.2	33.6	26.2	これからの資産形成については、収益性よりも安全性を重視したい
(4)	良質で安い賃貸住宅が増えれば、自分の名義で住宅や土地を保有する必要はないと思う	7.2	7.2	27.4	23.4	34.6	良質で安い賃貸住宅が増えても、やはり住宅や土地は自分の名義で保有したいと思う
(5)	長期的には、地価は下がると思うので、住宅や土地を買うのであれば、もっと先がよい	4.2	6.7	55.5	21.0	12.4	長期的にみても、地価はあまり下がることはないと思うので、住宅や土地を買うのであれば、今がチャンスだと思う

フェイス・シート＜回答者の属性＞

F 1. あなたの性別は。

1	2
男	女
49.6	50.4

F 2. あなたの年齢は。(満年齢でお答えください)

1 20～29歳	14.3	4 50～59歳	19.7
2 30～39歳	17.6	5 60～69歳	16.1
3 40～49歳	25.8	6 70歳以上	6.5

F 3. あなたは結婚していच्छいますか。

1	2	3
既婚（配偶者あり）	既婚（配偶者は離別・死別）	未 婚
79.5	6.8	13.7

(既婚者＜F 3で1、2と回答＞に)

F 3-1. 同居・別居にかかわらず、現在お子様がいますか。

1	2
子供がいる	子供はいない
92.8	7.2

(子供のいる人＜F 3-1で1と回答＞に)

F 3-2. 一番下のお子様はいくつですか。(○は1つ)

1 小学校入学前	19.0	4 短大、高専、専門学校生	2.1
2 小学生、中学生	21.1	5 大学生、大学院生	4.0
3 高校生、浪人中	8.6	6 社会人	45.1

F 4. 現在一緒に住んでいるご家族の構成は、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

1 1人住まい世帯	4.7	4 親と子と孫の3世代世帯	19.6
2 夫婦だけ世帯	16.6	5 その他（具体的に）	1.5
3 親と子の2世代世帯	57.4		

F 5. あなたのお住いは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1 土地付き持ち家	59.9	6 一般の賃貸マンション・アパート	8.2
2 持ち家のマンション・アパート	3.8	7 社宅、官舎、寮	3.8
3 借地持ち家	4.6	8 間借り、住み込み	0.2
4 借家（一戸建て）	5.8	9 親または子供の家に同居	7.5
5 公営・公団・公社の賃貸アパート	6.2		

F 6. あなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。パート勤めの方は勤め人としてお答えください。(○は1つ)

自営業・ 家族 従業者	1 農林漁業	3.8	勤 め 人	4 管理職	6.0	無 職 者	10 専業主婦	15.0
	2 商工・サービス業	11.7		5 専門技術職・教員	8.9		11 学生	1.6
	3 自由業	4.1		6 事務職	9.8		12 年金・恩給生活者	7.9
19.6			52.0	7 労務職	10.7		13 その他無職	3.8
				8 販売・サービス職	8.0			
				9 主婦(パート勤め)	8.6	28.3		

(注) パート勤めの主婦の方は9に、それ以外のパート勤めの方は、5～8のいずれか1つに○をつけてください。

(勤め人<F 6で4～9と回答>に)

F 6-1. 勤め先の従業員の人数は、会社全体で何人ぐらいですか。本社、支店なども含めてお答えください。

1	2	3	4	5	6	7
1～9人	10～29人	30～49人	50～299人	300～999人	1,000人以上	官公庁
12.4	14.5	8.9	23.6	12.0	20.3	6.8

F 7. 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。(夫婦で同じ程度という場合などは、「2 はい」に○をつけてください)

1	2
いいえ	はい
48.2	51.7

(主として生計を支えていない人<F 7で1と回答>に)

F 7-1. 主としてお宅の生計を支えていらっしゃる方の年齢はおいくつですか。

1	20～29歳	4.8	4	50～59歳	27.2
2	30～39歳	15.6	5	60～69歳	17.6
3	40～49歳	28.8	6	70歳以上	5.6

F 7-2. 主としてお宅の生計を支えていらっしゃる方のご職業は何ですか。パート勤めの方は勤め人としてお答えください。(○は1つ)

自営業・ 家族 従業者	1 農林漁業	4.7	勤 め 人	4 管理職	12.5	無 職 者	10 学生	0.1
	2 商工・サービス業	15.0		5 専門技術職・教員	11.2		11 年金・恩給生活者	8.9
	3 自由業	6.5		6 事務職	10.2		12 その他無職	2.5
26.2			61.7	7 労務職	17.2			
				8 販売・サービス職	8.9			
				9 主婦(パート勤め)	1.6	11.6		

(注) パート勤めの主婦の方は9に、それ以外のパート勤めの方は、5～8のいずれか1つに○をつけてください。

(勤め人<F 7-2で4～9と回答>に)

F 7-3. 主としてお宅の生計を支えていらっしゃる方の勤め先の従業員の人数は会社全体で何人ぐらいですか。本社、支店なども含めてお答えください。

1	2	3	4	5	6	7
1～9人	10～29人	30～49人	50～299人	300～999人	1,000人以上	官公庁
8.1	12.4	9.1	24.6	12.3	23.5	8.7

F 8. あなた（および配偶者）の昨年1年間の収入は、税込でおよそいくらぐらいですか。（ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除いてください）（○は1つ）

1 収入はない	4.2	5 800万円～1,000万円未満	7.9
2 400万円未満	37.7	6 1,000万円～1,500万円未満	5.6
3 400万円～600万円未満	24.6	7 1,500万円以上	2.2
4 600万円～800万円未満	14.0		

F 9. また、大変失礼かと存じますが、あなた（および配偶者）の貯蓄残高は次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた預貯金、信託、保険、株式、債券、投信などの合計額でお答えください。なお、生命保険、損害保険、共済については掛捨て型のものを除いてお答えください。（○は1つ）

1 貯蓄はまったくない	9.5	5 1,000万円～2,000万円未満	9.7
2 100万円未満	17.0	6 2,000万円～5,000万円未満	6.9
3 100万円～500万円未満	33.5	7 5,000万円～1億円未満	1.3
4 500万円～1,000万円未満	15.0	8 1億円以上	0.6

F 10. あなた（および配偶者）の借入残高は、以下のどの区分に入りますか。（○は1つ）

（注）クレジットカードを利用するの買い物や事業目的の借入は除きます。

1 借入金はない	62.5	6 1,000万円～2,000万円未満	4.9
2 50万円未満	3.3	7 2,000万円～5,000万円未満	3.3
3 50万円～100万円未満	4.8	8 5,000万円～1億円未満	0.3
4 100万円～500万円未満	9.8	9 1億円以上	0.4
5 500万円～1,000万円未満	6.9		

F 11. あなた（および配偶者）の名義で所有されている土地・家屋の資産残高は、以下のどの区分に入りますか。（○は1つ）

1 まったくない	37.3	5 2,000万円～5,000万円未満	20.3
2 500万円未満	6.7	6 5,000万円～1億円未満	6.3
3 500万円～1,000万円未満	7.5	7 1億円～2億円未満	2.3
4 1,000万円～2,000万円未満	11.8	8 2億円以上	2.1

（注）金額区分はできれば現在の価格（仮に今売却した場合の値段）でお知らせ願います。それが困難な場合は、取得時の価格をお答えください。

（情報サービス局）